

# JAL グループネイチャーポジティブ宣言

## 基本的な考え方

JAL グループは、自然の保全・回復が社会基盤を強固にすることから、社会の持続可能性にとって特に重要な課題であると認識しており、生物多様性と気候変動の包括的な解決を目指しています。

これまで、生物多様性の保全については、違法な野生生物の取引防止による種の保全、植物防疫を通じた生態系の維持、世界自然遺産における自然資源の保全など、積極的に推進してまいりました。また、気候変動への対応として、CO<sub>2</sub>削減の取り組みによる生態系への影響を考慮しつつ、2050年CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを実現するために、省燃費機材への更新・運航の工夫・SAFの活用に取り組んでいます。

(TCFDに基づいた気候変動に関する情報開示)

JAL グループは、事業活動を通じて自然と人が共生する社会の構築を目指し、自然への影響の低減を前提に、自然の保全や体験による人流や、豊かな生態系の産物である食材・商材による商流・物流を創出してまいります。このように、移動を通じた関係・つながりを創造し、「ネイチャーポジティブ」の実現を通じて誰もが豊かさや希望を感じられる未来を創り、企業価値の向上につなげていきます。これらを実現するために、「自然に関するコミットメント」のもと、取り組んでまいります。

## 自然に関するコミットメント

JAL グループは、豊かな地球を次世代へ引き継ぐ責任を果たすため、生物多様性を含む自然の保全・回復に貢献します。

私たちの暮らしや経済活動は、自然の恵み（生態系サービス）によって成り立っています。自然の恵みは自然資本というストックに支えられており、自然資本の持続可能性を考慮したビジネスモデルは、企業を含む社会全体の持続可能性を支えます。

JAL グループは、そのような自然の重要性を認識した上で、生物多様性保全のための優先地域を特定し、設定した目標への進捗を把握しながら保全に取り組むことで、2030年までに生物多様性の損失を防ぐことを目指します。そして、2050年までに森林破壊停止の実現とともにネットポジティブインパクトを生み出し、自然と共生する社会を目指します。

そのために、私たちはサプライヤーやお客さまなどのステークホルダーの皆さまとともに、以下を約束します。

- バリューチェーン全体が自然へ与える影響や自然への依存および事業上のリスクと機会を把握します。
- 事業が自然へ与える負の影響に対しては、回避・低減・回復・相殺の優先順位で対応します。
- ステークホルダーの皆さまとともに生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組みます。

※2023年8月取締役会において報告・承認

※本コミットメントはJALグループ、サプライヤーおよびパートナーを適用範囲とする



**JAPAN AIRLINES**